

2009年8月15日発行

第547号  
(通算)

# 環境と健康

環境保健・生活科学・コミュニティ活動の総合情報紙

発行者

HIROSHIMA ENVIRONMENT & HEALTH ASSOCIATION  
財団 法人 広島県環境保健協会

近光 章  
広島市中区広瀬北町9番1号  
郵便番号 730-8631  
電話 082-293-1511番  
振替口座01380-2-27511  
URL <http://www.kanhkoyo.or.jp/>

昨年十二月の公益法人制度改定の施行に伴い、新法人の移行形態などを審議するため、評議員及び理事を委員として構成する新法人移行準備委員会の第一回が六月十八日に開催された。

## 制度改革の概要の把握と課題を確認

### 環保協第1回新法人移行準備委員会

全体像について、了承された。審議の過程において、各委員から主に、協会の公益目的事業の要件となる公益認定法別表の該当事業の種別の検討、公益目的事業比率の試算状況、新しい評議員の選考方法などについて質疑があった。

今後の準備委員会は、平成二十二年度中の申請を前

提に、四半期ごとに開催し、九月開催の第二回は新法人の機関設計方針及び評議員選定委員会について、十二月開催の第三回は公益認定持続可否検討結果などについて、来年三月開催の第四回は移行形態、時期や移行手順など新法人への移行方について、当協会事務局から説明を行い、現在の取り組みや今後の審議の

## 情報交換 意気盛んに

### 第48回環境保健夏季大学



第四十八回環境保健夏季大学（合同研修）が七月九日～十日の二日間開催され、会場であるグリーンピアせと

た。この研修は、地域ぐる生の実践活動を展開する地区衛生組織関係者が一堂に会し、知識を習得するとともに市町を通じての体験交流を通して、今後

の活動の向上・活性化をすることを目的に毎年開催しているものである。

一日目は、「平成二十年度環境と健康の「ミニユニアイ活動助成事業活動報告」として、昨年度の助成事業採択団体による活動報告が行われた。各団体から代表者が登壇し、実践した活動について発表した。活動写真をスクリーンに映写した

夕食後の自由集会では、廣島県の生き物についての紹介、「脱温暖化」に関するDVD上映や自転車発電機などグッズの紹介、また「健康」コーナーでは筋肉量測定やウォーキングPR用グッズの紹介など、当会各センターからの情報提供が行われた。

二日目は、分科会を実施。今回の分科会では、「わが公衛協の活動ファイル（全

各公衛協）」として、各公衛協の概要や昨年度の活動実績、今年度の事業についてまとめた資料を活用した。「環境」「健康」「組織」「脱温暖化」の四つの分科会に分かれ、それぞれのテーマに沿った活動に取り組む公衛協から活動の事例紹介があり、発表をもとに参加者同士で意見交換を行つた。

講演では、「協働のまちづくりについて」と題して、ひろしまNPOセンター副

代表の中村隆行氏にお話を

いただきました。（講演要旨は二

面参照）。

夏季大学を締めくくる修

了式では、二日間を通して研修を受けた参加者へ修了

証が授与され、全工程の幕

を開じた。参加者からは「活

動報告には自分たちの地域

でやつてみたいと思えるも

のが見つかって」「参加者

の主導のプログラムとなつて

いて良かった」などの声が

聞かれ、盛況のうちに終わ

った。

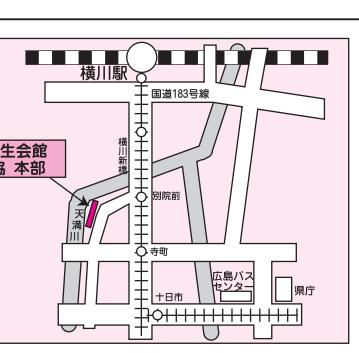
## 参加者が主体となつて事例紹介



分科会ではテーマ別に事例紹介を行つた



分科会ではテーマ別に事例紹介を行つた



## 環境と保健の未来をめざして 財団法人 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 (広島県公衆衛生会館)

TEL (082) 293-1511 大代表 FAX (082) 293-1520

(財) 広島県環境保健協会 <http://www.kanhkoyo.or.jp>  
脱温暖化センターひろしま <http://www.kanhkoyo.or.jp/ondan/ondan.html>  
広島転倒予防研究会 <http://www.kanhkoyo.or.jp/tentou/>  
広島県禁煙支援ネットワーク <http://www.menet.gr.jp/kin-en/>

だ▼三重県に「智積養水」という全国名水百選に選定された水路がある。もともと、水質が非常に優れた湧水で、水路で町に引き、生活用水として使われていたが、昭和四十年代より水道が普及し用水として使われなくなり、人々が水路に水を捨てたり、下水などに利用し始め水質は悪化した。そこで有志が、水質復活の運動を始めたところ、子どもの教育

（広島国際学院大学教授 佐々木健）

## 「水は心」

があるようだ。

水質は人々の

「心」と相関

するようなの

だ

長年、全国の名水や河川水の水質調査を行ってきたが、「水は心」という言葉を確信する

ようになつた。つまり、地域の水質の良い所は、その地域の人々が、水に関心を持ち、水を守ろう、

水を大切にしようという「心」、そつうの

気持しが大いにある所であり、その「心

が失われる、水場は放棄され、水質が

悪化する傾向

があるようだ。

水質は人々の

「心」と相関

するようなの

だ

長年、水場の清掃や周囲の環境保全に取り組み、また、「どうおとし」といつて、田植えが終了した後、子どもたちも巻き込んで、地域のため池や用水路の清掃を継続してきた「心」が、名水百選の選定に奏功したものといえる。ここでは水質が悪化したことはない。つまり、水質維持には、人々の「心」の持ちようが大切

と思えるのである。